

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画 2025年度

看護職員の勤務状況(2025.4.1)

※2025年度より指標抽出方法を変更

病院規模:235床 看護師数: 常勤 125名 非常勤 25 名(実人数) 看護補助者数: 常勤 39 名 非常勤 9名(実人数) 月平均時間外勤務時間数: 1.97時間 月平均夜勤時間数: 急性期:66.2時間 回復リハ:54.5時間 障害者施設病棟:63.2時間 地域包括ケア病棟:54.3時間	参照先: 人員管理表 人員管理表 残業一覧 年度末の看護部(看護職:常勤のみ)月平均残業時間 様式9 病棟別夜勤時間数
---	---

看護職負担軽減のための取組

他職種との役割分担を明確にし、看護職員の業務分担の適正化を図る
看護師の確保を行い、業務が円滑に遂行するとともに業務の負担軽減を図る

看護職負担軽減につながったかの評価体制
計画の進捗管理・評価については、看護部・TQM委員会が所轄
責任者:看護部長と構成員である各部門責任者
上半期及び年度末に負担軽減計画の達成状況の評価及び計画の修正を行う

取組項目	取組内容	現状の取組	2024年度末の状況	進捗状況			2025年度の改善目標	今後に必要な対応
				達成済	進行中	未実施		
業務量の調整	時間外労働が発生しないような業務量の調整	入退院調整の実施	患者サポートセンター2024年10月稼働開始	○	○		入退院支援業務の再構築	多職種(薬剤・栄養)の介入
	早出・遅出等の柔軟な勤務体制	看護業務標準化	業務手順・看護記録の改訂を順次施行中	○			継続	業務手順・看護記録の見直し
医療DX	動画配信システム	患者説明業務を看護師が実施	配置継続	○			継続	
		患者説明業務を看護師が実施	2024年導入完了	○			継続	よりわかりやすい内容に改訂
薬剤師	持参薬の確認・管理	持参薬の院内調剤	持参薬剤師の配置	○			継続	
	入院患者の原則一包化調剤	処方箋への簡易懸滴の可否表示	実施中	○			継続	他院では未実施施設多数あり 他院では一包化未実施施設複数あり
薬剤助手	病棟患者の服薬指導	病棟患者の服薬指導	薬剤師が施行	○			継続	
	注射薬の点検	注射薬の点検	定期点検を実施	○			継続	増員or業務内容に追加
リハビリ	早出・昼介入によるADL訓練と介助補助業務	早出・昼介入によるADL訓練と介助補助業務	回復リハ病棟での新の食事・排泄・整容・更衣・移動の指導介助及び要請に応じて介助補助業務の実施	○			継続	
	一般病棟患者のトイレ動作介助	一般病棟患者のトイレ動作介助	一般病棟患者のトイレ誘導やトイレ動作の介助実施	○			継続	
	患者の体重測定	患者の体重測定	車椅子体重計での体重測定 週1回、立位保持困難な患者に対して車椅子乗車状態で体重を計測	○			継続	
	リハビリ送迎時の移送	リハビリ送迎時の移送	リハビリ時の移送はPT、OT、STが施行 患者の起居動作や車椅子移乗等の指導や歩行訓練を兼ねて病室からリハビリ室までの移動対応を行う	○			継続	
	吸引業務の実施	吸引業務の実施	吸引プログラムを作成し、基本的知識と実技円周の指導及びテストを実施		○		新入職員に対して研修を実施	
	看護必要度に関連した記録の記載	看護必要度に関連した記録の記載	記載できていない		○		継続	研修会の共同開催を行う
栄養科	入院時食物アレルギーの確認	入院時食物アレルギーの確認	全患者へ実施	○			継続	
	食事摂取不良患者への食事調査	食事摂取不良患者への食事調査	必要な患者へ実施	○			継続	
	転入院後の嚥下食への調整	転入院後の嚥下食への調整	必要な患者へ実施	○			継続	
	多職種カンファへの参加(情報共有)	多職種カンファへの参加(情報共有)	各病棟の多職種カンファに参加	○			継続	
	配茶(とろみ茶、食間のおかわり用など)	配茶(とろみ茶、食間のおかわり用など)	全患者、全病棟へ実施	○			継続	
	食事の早出し対応	食事の早出し対応	給食委託会社と協力し実施	○			継続	
臨床検査技師	患者採血と検査説明の実施	患者採血と検査説明の実施	外来・病棟部門において実施中		○		継続	臨床検査技師の増員
	臨床工学技士	臨床工学技士	精密機器の中央管理	○			継続	
放射線科	撮影時のルーテ確保	撮影時のルーテ確保	精密機器の作動確認、点検整備	○			継続	
	入院患者の算定チェック	入院患者の算定チェック	放射線技師会告示研修受講済み(全員)		○		全員が穿刺行為が出来るようになる	実地訓練予定
病棟クラーク	回診時の代行入力	回診時の代行入力	電子カルテのコスト漏れのチェックと報告	○			継続	
	代行入力指示は医師から直接クラークへ連絡	代行入力指示は医師から直接クラークへ連絡	メディカルクラーク係配置	○			対応できるクラークを増やす(教育)	
	病歴室との連携	病歴室との連携	メディカルクラーク係配置(PHS831携帯)	○			対応できるクラークを増やす(教育)	
	委託2名	委託2名	入退院に必要なカルテの準備と返却				継続	
SPD	物品の定数管理及び運搬と補充	物品の定数管理及び運搬と補充	直営で新規雇用(看護部所属)		○		2025年4月業務移行	
	患者サポートセンター	患者サポートセンター	物品の定数化と棚への補充を実施	○			継続	
ケアスタッフ	身の回りに関するケア	身の回りに関するケア	運用開始後継続して業務の検討や環境整備中		○		継続	
	食事に関するケア	食事に関するケア	買い物、衣服の着脱、見守りを実施	○			継続	ケアスタッフの増員
介護福祉士	清潔に関するケア	清潔に関するケア	配膳・下膳・食事介助を実施	○			継続	
	身の回りに関するケア	身の回りに関するケア	リネン交換、入浴・清拭・洗髪介助を実施	○			継続	
	食事に関するケア	食事に関するケア	買い物、衣服の着脱、見守りを実施	○			継続	
	清潔に関するケア	清潔に関するケア	配膳・下膳・食事介助を実施	○			継続	介護福祉士の増員
	生活変調をさせるためのケア	生活変調をさせるためのケア	リネン交換、入浴・清拭・洗髪介助を実施	○			継続	
			レクリエーションの実施	○			継続	
看護補助者の配置	主として事務的業務を行う看護補助者の配置	入院に関する書類の準備と整理	書類の作成とチェック、患者への同意とサインを実施	○			継続	
		備品請求	入退院患者の赤ファイル作成と準備を実施	○			継続	
	当院で3年以上の勤務経験者数	返戻カルテのチェック	病棟の事務物品の請求業務の実施	○			継続	
	看護補助者の夜間配置	3年以上の勤務経験者数・介護福祉士スタッフ数の確保が困難	サマリー等のチェックと入力を実施	○			継続	
		夜間急性期看護補助体制加算 100対1を取得	該当者が基準数を満たしていない			○	2028年度看護補助体制充実加算1の取得を目指す	3年以上の勤務経験者を確保し、12時間研修受講者数を増やす
		ケアスタッフの夜間配置	夜間急性期看護補助体制加算 100対1を取得	○			夜間急性期看護補助体制加算50対1の取得を目指す	夜勤勤務者の増員

取組項目	取組内容	現状の取組	2024年度末の状況	進捗状況			2025年度の改善目標	今後に必要な対応
				達成済	進行中	未実施		
多様な勤務形態の導入	多様な勤務形態の導入	職員の生活スタイルに合わせた多様な勤務形態を導入している	2交替・日勤のみなど個人の環境に配慮し導入している	○			継続	
	半日・時間単位有給休暇制度	半日・時間単位で取得可能	有給休暇の半日・時間単位での取得実施	○				
妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	院内保育所	6ヶ月～就学まで保育の実施(登報発令時は小2まで可能)	保育の実施(生後5ヶ月～小学校就学前まで)	○			継続	
	夜間保育の実施	24時間保育の実施	24時間保育の実施	○			継続	
	夜勤の減免制度	小学校就学前までは夜勤免除	小学校就学前まで申し出により夜勤免除を実施	○			継続	
	日・夜勤務の制限制度	申し出により調整	申し出により調整し実施	○			継続	
	所定労働時間の短縮	1日の就労時間を8時間以上、15分単位で設定出来る	希望する勤務時間を申し出ることにより実施	○			継続	
	他部署等への配置転換	復職時面談を行い配属部署を決定している	希望する働き方を考慮し実施	○			継続	
夜勤負担の軽減	夜勤従事者の増員	夜勤専従者の増員	夜勤専従者の募集をするも増員できず		○		各部署2名の専任パートの配置を目標とする	夜勤専従看護師の6名の増員
健康増進	月の夜勤回数の上限設定	18回/月	実施		○		継続	

看護職員負担軽減の評価尺度

項目	基準・目標	2025.4.1	2026.4.1
超過勤務時間	5時間以下	1.97 時間	時間
平均夜勤時間	72.0時間以下	急性期:66.2時間 回復リハ:54.5時間 障害者施設病棟:63.2時間 地域包括ケア病棟:54.3時間	